

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 12月 20日

事業所名： なないろの空

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	6		基準以上の広いスペースを確保しています。利用児童が、活動・自由遊び・静かに過ごせるスペースなどが確保されています。	
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	6		基準のスタッフに加えて加配のスタッフも配置しています。	
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6		活動と余暇の過ごしの方で分けています。写真やイラストを使用したスケジュール表を掲示し、1日の流れが一目でわかるようにしています。	完全なバリアフリーではないですが、利用児童に合わせて段差や敷居の解消等配慮しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	6		家庭にいるようなアットホームな雰囲気、安心して利用してもらえる空間作りを心掛けています。必要な時に必要な物が出せるように配置し、基本的に収納をするようにしています。	
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6		一人で過ごしたい時にすぐに使える段ボールハウス、落ち着いて作業に取り組みたい時などに使えるスペース、体調が優れない時に安息できる休憩スペースを確保、排泄介助の児童に合わせた個室空間も確保しています。	ふすまでスペースを確保しているのですが、静かな環境を準備するのに配慮を必要とします。
業務改善	⑥ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		毎日のミーティング、ケース会議、職員会議、所内研修等にて、支援方法、支援ツールなどについて話し合い、振り返り、改善しながら取り組んでいます。	
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6		年に1度の保護者評価を実施し、アンケート結果を真摯に受け止め業務改善に繋げています。また、日々の保護者とのやり取りをヒントに、都度業務改善に繋げています。	
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6		日々のミーティングの中で、全体で共有しています。また、経験年数や年齢等関係なく意見の出せる雰囲気作りを心がけています。年2回の職員面談等で把握した意見を、改善に繋げています。	
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		第三者による外部評価は今のところ行っていません。
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	6		年間計画のもと、月1回のペースで研修の機会を設けています。外部の研修にも積極的に参加し、外部研修を受けたスタッフが所内で共有する形もあります。最近、Web研修が多くあり、全員で聞ける機会が増えているのでありがたいと感じています。	

適切な支援の提供

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人のHPで毎月公表しています。子どもの特性に配慮しながら、5領域の活動をバランスよく組み立てています。毎回実績票にその日の活動とねらいを記入し、保護者と共有しています。	
⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		定期的に児童と保護者へのモニタリングを行いながら、アセスメント、課題の分析等をチームで行い計画の更新をしています。また、月に1度児童と話をする時間を設けたり、保護者とは、送迎時または家族支援の機会に都度情報共有するようにしています。	
⑬	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	6		児童発達支援管理責任者を中心に、日々のミーティング、ケース会議で活発に意見交換をし支援について共有、検討しています。	
⑭	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	6		支援評価表を使って毎日確認しています。	
⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	6		日々の支援記録、不適応行動の記録、アセスメント(全体、専門)、ヒヤリハットと複数の記録を重ね合わせながら日々支援の見直しを行っています。	
⑯	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		本人支援は日々の支援の中で、家族支援は日々のやり取りと定期的実施。移行支援・地域支援・地域連携に関しては、事業所内だけで留まらないように、意識的な情報共有、地域に開かれた事業所となるよう外出での地域の方々との交流を心掛けています。児童が自立する上でどれも欠かせないものと考えています。	特に、平日の利用は時間が短く地域交流の活動を取り入れることが難しいです。少人数で実施日を調整しながら全員が行えるようにしていけるとよいです。
⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		チームで話し合いをして作成した年間計画をもとに、毎月、担当者を決めて定期的に立案しています。	
⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		毎回活動後に情報共有し、同じタイトルの活動であっても個々に少しずつステップアップできるように工夫しています。また、5領域で色分けすることでねらいに沿って計画をしています。季節に合わせたプログラムやそれぞれの課題にあったプログラムなど固定化しない工夫をし、地域交流の機会も取り入れるようにしています。	
⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	6		個別活動が主ですが、集団活動もバランスよく設定しています。集団の人数も状況や目的に合わせて調整しています。個別だと見えないところ、集団だと見えてくることもあり、その逆のこともあります。	

チェック項目

はい

いいえ

工夫している点

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	6		日々のミーティングでプログラムの内容の確認や支援の振り返り・改善点について話し合いをしています。児童の様子や振り返りの中で気付いた点を記録し、常に情報の共有ができるようにしています。また、支援記録・支援評価表・ヒヤリハット・不適応行動の記録などで支援の検証・改善に繋がるように取り組んでいます。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		新規利用から3か月で1度目の更新。その後は必要に応じて(基本は6か月ごとに)モニタリングを行い、計画を更新しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		児童が意欲的に関われるような活動の提案や様々な体験の機会を提供しています。その中で地域資源を活かした活動も取り入れています。児童の様子や意見を取り入れながら組み立てています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	6		児童の特性に合わせて、場合によっては選択肢を用意するなど、活動や日々の生活の中で自分で決定する機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	6		その児童の状況をよく理解した者が参画しています。また事前に全体で情報共有をしています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	6		個々の必要性に応じて体制を整えています。	連携が難しい関係機関もあり、お互いの速やかな情報共有をするためにどうしたらよいかをチームで話合っています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6		学校迎え時に学校との情報共有を行っています。また必要に応じて電話連絡等も行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	支援会議に参加しています。必要に応じて関係機関と直接連絡を取らせていただくこともあります。	相談員から情報を得ていることが多いですが、直接会って話す機会があるとよいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6		今後も必要があれば参加させていただきます。相談員を介して必要な情報は提供させていただいております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	6		必要等に応じて助言をいただいたり、研修を受ける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか		6	現在は行っていません。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6		参加し、意見交換をさせていただいています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		家族支援の機会や日々のやりとりの中で、必要なことはすぐに共有できる体制を整えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③5		6	ペアレント・トレーニング等はありません。事業所で行っている対応の仕方を面談などで提案・説明をしています。	今後、保護者等が参加できる研修の機会や情報提供等を行っていく予定です。
	③6	6		利用開始時にご説明をさせていただいております。また、事業所玄関に提示してあり、質問があれば都度お答えをしています。	
	③7	6		目標の見直しと設定のタイミングの前後で児童、保護者とお話をする機会を設けています。	
	③8	6		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	
	③9	6		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	
保護者への説明責任等	④0		6	今のところ父母の会の活動や保護者会等の交流の場は設けておりません。	個人情報の守秘義務を優先すると、事業所からの保護者会開催を提案することが難しいと感じています。今後は、交流の機会を設け、保護者間の交流ができるようにして行きたいと思います。
	④1	6		苦情解決に関しては、窓口を設置し、迅速かつ丁寧な対応を心がけています。また、玄関に意見箱を設置しています。	
	④2	6		月に1度HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定を発信しています。連絡体制につきまちは、翌月の利用予定表配布時に発信しています。	
	④3	6		PC内の個人データは、システムの中で厳重に管理しています。利用開始時にご家族に対して個人情報に関する説明と同意を得ています。職員教育を徹底しています。	
	④4	6		児童に関しては、個々の特性に合わせたコミュニケーション方法で意思疎通をしています。保護者に対しては、一律ではなくそれぞれのご家族に合わせた方法でやり取りをしています。	
	④5	6		地域住民を招待することはありませんが、地域の施設などを利用し、地域の方との交流の機会を設けています。	
非常時等の対応	④6	6		各種マニュアルの設置をしています。毎月スタッフのみの避難訓練を実施。児童を含めた避難訓練を年2回以上、計画的に行い保護者に実施報告をしています。	

チェック項目

はい

いいえ

工夫している点

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

④7	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に見直しを行っています。毎月スタッフのみの避難訓練を実施。児童を含めた避難訓練を年2回以上、計画的に行っています。	
④8	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		利用開始時に確認しています。また、個々に緊急連絡カードを作成し、都度更新しています。	
④9	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		現在食物アレルギーのある児童の在籍はありませんが、必要に応じて行っています。	
⑤0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	6		安全運転管理者が中心となり、年に1度の外部講習に参加、それをもとに所内研修を行っています。外出に関しては、安全計画を作成した上で外出をしています。	
⑤1	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	3	3	活動についてはお知らせしていません。特に外出に関しては、事前と事後にお伝えするようにしています。	
⑤2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	6		その場もしくは、翌日のミーティングで共有し、即改善を図っています。また、月に1度ヒヤリハット会議を設けています。	
⑤3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		年に2回研修の機会を設け、虐待の意識に関するアンケートを行っています。また、年に数回外部研修にも参加しています。	
⑤4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		必要がある場合には、事前に児童や保護者に説明・相談し了解を得ています。放課後等デイサービス計画にも記載しています。	